

特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク会議

平成 26 年度 第 1 回理事会議事録

1. 日時：平成 26 年 5 月 8 日(木) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分

2. 会場：サプリ村野 環境保全研修室

(特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク事務局会議室)

3. 理事総数：17 名

4. 出席者数：17 名(本人出席：15 名、委任状出席：2 名)

5. 議案

第 1 号議案 役員候補者の選任に関する件

第 2 号議案 運営委員任命の件

第 3 号議案 平成 25 年度事業報告書(案)承認の件

第 4 号議案 平成 25 年度活動決算書(案)承認の件

第 5 号議案 平成 26 年度事業計画書(案)承認の件

第 6 号議案 平成 26 年度活動予算書(案)承認の件

6. 議事経過及び結果

- (1) 井上理事が本日の理事会は、定款第 36 条に定める定足数を満たして有効に成立している旨を述べて、開会を宣言した。
- (2) 定款第 35 条の規定に基づき、伊丹理事が議長に就任した。
- (3) 定款第 39 条第 3 項の規定に基づき、議長が議事録作成人に事務局、議事録署名人に丸井理事、末岡理事を指名した。

(4) 第1号議案「役員候補者の選任に関する件」

平成26年5月31日開催予定の通常総会をもって、全役員の任期が満了するのに伴い、定款14条第1項に基づき、議長は上記議案を上程した。原案名簿に1名変更があったため修正を加えた原案の役員候補者名簿について、丸井理事が概要を説明し、議長が全員に諮ったところ、全員異議無く修正原案どおり承認可決した。

<理事候補者 12名>

伊丹均、市山二郎、井上祥子、植田奈保美、田邊弘和、阿充知彦、末岡妙子、竹島健次、田中晃、田中隆夫、谷口興紀、谷崎利男、豊高勝、藤田伸行、上武康宏、増本勝久、丸井晶子

<監事候補者名 2名>

稲田増光、重村篤也

(5) 第2号議案「運営委員任命の件」

本日理事会をもって全運営委員の任期が満了するのに伴い、議長は上記議案を上程した。原案の運営委員候補者名簿について、丸井理事が概要を説明し、議長が承認を全員に諮ったところ、全員異議無く原案どおり承認可決、運営委員12名が任命され、運営委員候補者は全員就任を承諾した。又、運営委員長には丸井晶子が選任された。

<運営委員 12名>

伊丹均、井上祥子、鎌田徹、進藤弘司、末岡妙子、竹島健次、田中晃、田中靖之、谷口興紀、豊高勝、丸井晶子、山田幸信

<運営委員長>

丸井 晶子

(6) 第3号議案 「平成25年度事業報告書(案)承認の件」

第4号議案 「平成25年度活動決算書(案)承認の件」

議長は上記議案を上程し、丸井理事が概要の説明を行った。また、原案に一部修正があったため説明を加えた。その後議長が質疑を求めたところ、下記要約の通り質問がなされ、担当者が説明を行った。その後、議長が承認を全員に諮ったところ、全員異議無く修正原案通り承認可決した。

※質疑応答

谷崎理事：保険費が予算より実績が大幅に少ないのはなぜか。

丸井理事：各部会のイベントの保険料は、部会事業費として振り分けた。ここにあるのは、全体事業として実施した事業の保険料である。

(7) 第 5 号議案 平成 26 年度事業計画書(案)承認の件

第 6 号議案 平成 26 年度活動予算書(案)承認の件

議長は上記議案を上程し、丸井理事が概要の説明を行った。また、原案に一部修正および変更があったため修正を加えた。変更箇所については、「議案作成後に助成金 7 万円の受給が決定したため、総会議案にはまちづくり部会予算にこれを計上する」という説明を行った。その後議長が質疑を求めたところ、下記要約の通り質問がなされ、担当者が説明を行った。その後、議長が承認を全員に諮ったところ、全員異議なく質疑応答で指摘のあった箇所の修正を加え、修正原案通り承認可決した。

※質疑応答

植田理事：S-EMS 構築・運用の支援事業について、収入見込額が 150 万円なのに支出見込額 120 万円なのはなぜか。

丸井理事：収入としては、150 万円であり、そのうち 30 万円は、S-E M S 事業に関わる事務局経費として管理費部門に計上している。

井上理事：計画書の番号が抜けているところがある。

丸井理事：総会までに修正する。

谷口理事：計画書の 7 (2) の「会員及に」の「及」はまちがい。

丸井理事：総会までに修正する。

上武理事：事業方針の 3 行目の「惨事の場合」という表現を再検討してほしい。

丸井理事：総会までに表現を変更する。

7. その他（報告、意見交換、今後の行事説明など）

(1) 経営プランについて

丸井理事より、前回理事会で指摘のあった箇所について変更があったという説明が行われた。

(2) 賛助会員会費について

議長より、「会費の金額を低くすることで、賛助会員拡大の働きかけがしやすくな

り会員拡大に繋がる。併せて、財政面での支援も期待できる。以上のことから、賛助会員の会費額を下げる検討を行いたい。金額を下げて、本当に裾野が広がるかどうかなど、1年かけて考えていきたい。結論ではなく、賛助会員の会費の設定を考えなおすことについての承認いただきたい。」という旨の説明が行われた。

※質疑応答

末岡理事：今回の総会にはかけないのか。これは、1年もかけて話し合うようなことなのか。会員数を増やしていくことで、大きな力としていきたい。会員数200人超を目標としたい。主婦感覚では、環境に対する思いを1,000円なら出してもらえないのではないかと思う。

谷崎理事：会員の年齢構成はどうなっているか。

丸井理事：65歳以上が多い。

谷崎理事：リタイアした方の参加率が高く。それでは総数を増やすのは難しいと思われる。若い人に入ってもらいたいなら会費は安い方がいい。

議長：現在、個人の賛助会員は6名。これを少しでも増やしたい。幅広く支援をいただく方策として、1,000円にしたらどうかという意見がでていいる。理事の皆様のご意見できるだけお伺いしたい。

長友理事：若い人には、3,000円は少し高いかと思う。

豊高理事：私の行っている大学でも同じような組織があるが、無料であってもなかなか入会者が集まらない。一方、インターネットで会員数5万人以上という組織もある。会費は無料であるが、イベントの参加料で会員、非会員に差をつけている。ハードルはできるだけ低くし、仲間を増やす方がいいのではないだろうか。また、組織のロイヤリティを高める有効な方法として、“会員証を発行する”“いろいろな券がもらえる”等のメリットを提供することである。興味を持ってもらうための仕組みが必要である。若い人は、なかなか活動はできないが、イベント参加など、情報の受手側としての役割を担ってもらえる。

谷崎理事：バスイベント時に勧誘はできないのか。

末岡理事：4月5日のバスイベントで、リーフレットをお渡ししながら会員拡大に取り組んだが難しい。

丸井理事：イベント参加料に会員との差をつけたいとは思っているが、参加費に差

をつけると広報に載せられないと聞いている。

末岡理事：無料で会員証を発行するのは難しい。

議 長：無料会員も有りかと思うが、それをどう活用できるだろうか。

井上理事：無料の人は、会報誌を送らないで、メールだけにすればよい。

議 長：この議論は、会費の徴収だけが目的ではない。いろいろな人にかかわっていただくことが大切である。1年間かけて、どんな事が求められているか、どんな方法があるか等をじっくり考えていきたい。今後も、意見や提案があれば、事務局にお寄せいただきたい。

(3) 今後の予定について

総会は5月31日(土)午後1時30分から、第2回理事会は同日午後2時15分からサプリ村野 環境保全研修室にて開催の予定である。

8. 閉会のことば

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、閉会を宣言した。

(午後3時00分)

上記の議事の要領及び結果を明確にするために、議長並びに議事録署名人2名が、次に記名押印する。

平成26年5月8日

特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議 理事会

議 長 伊丹 均 (印)

議事録署名人 丸井 晶子 (印)

議事録署名人 末岡 妙子 (印)